

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38/39	近年、自然災害による事故が多くなってきている。また、前回の災害マニュアルも策定から3年経過し追加項目などの見直しが必要になってきている。 金沢では大きな災害もなく良かったねではなく、『災害は忘れた頃にやってくる』を職員全員が常に頭の片隅におき、いざという時には適切な行動ができるようにしたい。	災害マニュアルの見直し・改定に職員も参加してもらおう。職員全員が災害マニュアルを理解し、複数回の参加を通して知識と行動が連動できるようにする。	新規に策定されたマニュアルは速やかに周知回覧し、常に目の届く場所に設置する。 災害訓練に参加した職員は、ユニット内にて職員全員受講で数回に分けて伝達周知を行う。 ユニット伝達が終わった頃、職員全体会議などでフィードバックする。知識を体得した職員が目標値未達の職員を支え、折に触れ訓練を繰り返す。	12～24ヶ月
2	38/39	疫病も災害の1種と考えると、流行時には迅速な職員の対応が望まれる。 幸い、新型肺炎コロナウィルスのような疫病に関する理解が、社会と共に職員にも急速に進んできている。医療・介護の現場の職員として、さらなる自覚とルールの順守徹底ができるようにしたい。	昨今の社会情勢上、社外研修は難しいので、所内にて、数回に分けた勉強会・研修を折に触れ職員全員が情報を更新していく。	各機関からの通達・案内は速やかに周知伝達の徹底を図る。昨今の社会情勢上、社外研修は難しいので、数回に分けた少人数の勉強会・研修を折に触れ開催する。職員全員が同じタイミングで情報を更新していく。会得した職員が他の職員をフォローする。職員相互に情報に対して敏感になるような働きかけを行い自己啓発を促す。	12～24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。